

## 令和元年度第1回ボランティア市民活動推進協議会 会議録

1. 開催日時 令和元年8月8日(木) 19時00分から21時00分まで
2. 場 所 市民交流棟2階 会議室2
3. 出席者 (委員) 大西 裕之、青木 ルリ、石川 弘幸、栗田 修平、前田 眞、福濱 りか、  
山川 和子、横内 博之  
  
(委嘱者) 市長 篠原 実  
(事務局) 政策部長 金崎 佐和子、地域振興課長 細川 哲郎、  
西岡 範彦、井原 広一  
ボランティア市民活動センター 所長 藤原 雅秀、越智 敦子
4. 傍聴者 なし
5. 会議内容

### 【委嘱式】

1. 委嘱状交付
2. 市長挨拶
3. 自己紹介

### 【協議会】

1. 開会
2. 会長・副会長選任
3. 議事
  - (1) ボランティア市民活動推進協議会について 【資料②③】
  - (2) 第3次ボランティア市民活動推進計画の実施について 【資料④⑤】
  - (3) ボランティア市民活動センターについて 【資料⑥⑦】
  - (4) 四国中央市社会福祉協議会評議員の推薦について 【資料⑧⑨】
  - (5) その他
4. 閉会

6. 会議録

発言者	発言内容
課長	<p><b>【委嘱式】</b></p> <p>司会進行</p>
市長	<p>1. 委嘱状交付 (交付は名簿順)</p> <p>2. 市長挨拶</p> <p>3. 自己紹介 (委員及び事務局)</p> <p>(市長及び部長退席)</p>
	<p><b>【協議会】</b></p> <p>2. 会長・副会長選任</p>
課長	<p>会長と副会長の選任につきまして、委員の皆様のご意見はございませんか。</p> <p>意見なし</p> <p>事務局案として、会長に前田眞委員、副会長に青木ルリ委員を提案します。</p>
委員	<p>異議なし</p>
会長 副会長	<p>就任挨拶</p>
会長	<p>3. 議事</p> <p>(1) ボランティア市民活動推進協議会について 説明を事務局より願います。</p>
事務局	<p>[四国中央市ボランティア市民活動推進条例(資料②)に基づいて、協議会を設置する目的、所掌事務、委員の任期について説明した後、ボランティア市民活動推進の流れ(資料③)に基づいて、ボランティア市民活動推進条例とボランティア市民活動推進計画の関係及びボランティア市民活動センターの運営方法や位置づけについて説明]</p>
会長	<p>これについて質問はあるか。</p>

会長 四国中央市は公設公営だが、他市には公設民営や民設民営がある。えひめリソースセンターが県内唯一の民設民営であり、市民がやりたいと思う活動を市民で立ち上げて運営している。それぞれの運営方法に個性があるので、四国中央市は市が直営する強みを生かしながら運営していけたらいいと思う。

## (2) 第3次ボランティア市民活動推進計画の実施について

会長 説明を事務局より願います。

事務局 [資料④に基づいて第3次ボランティア市民活動推進計画の概要を説明した後、資料⑤に基づいて本計画の重点項目である企業ボランティアの推進について説明]

会長 これについて意見はあるか。

委員 ボランティア活性化ツールとしてのポイント制度とは何か。

事務局 具体的には定まっていないのだが、ボランティアを持続的な活動にするための制度と考えており、例えば、ボランティア活動の回数に応じて付与されるポイントを公共施設の使用料の割引に活用できるようにするほか、一定のポイントを取得すると、その企業に対して表彰を行い広報紙やホームページ上で紹介することで企業ボランティアを推進できると考えている。

会長 県ではポイント対象となるボランティア活動をした者にボランティアポイントを付与することで、県の施設（こどもの城など）の入場券に換える仕組みなどがある。ポイントを企業につけるのか社員につけるのかの考え方はあるが、工夫の仕方次第では企業にポイントを付与することで発展する事業があるかもしれない。

ANA や JAL ではマイレージを寄付することで子ども達を海外に派遣する取り組みを実施している。市内の企業も参考にできることがあるのではないかと。

委員 弊社ではボランティア活動に対する数値目標を定めており、社員が仕事外において地域貢献活動に取り組む仕組みづくりを行っている。しかし、活動に対する何かしらの恩恵がなければ達成感につながらないのが実情である。

どのようなボランティアに参加したらいいのか情報がなかなか届いておらず、ボランティアを進めていく企業は情報に飢えている。

会長 こうした要望に応えるには、企業の登録制度を設けて登録企業には市から情報を提供する流れがあると思う。登録の際には、その企業が得意とする活動分野を把握できるような登録シートなどがあればマッチングがスムーズに行えるのではないかと。

課長 県では過疎地域の活性化を目的としたボランティアのマッチングシステムがあり、それに申請した地区の運動会や草刈りといったイベントに企業の社員がボランティアとして参加するなどの取り組み事例がある。

当市においては嶺南地域のアジサイ祭りに申請しようかという動きもあるが、今までの意見を聞いていると、支援受援のマッチングができれば県の取り組みと同じようなことが実施できると感じた。

会長	<p>団体の活動をしていく上で、こんな支援があったらいいのにとと思うものはないか。</p>
委員	<p>地元の南小学校ではコミュニティスクールを実施しており、学校を運営する上での課題を解決するための応援ボランティアを募集したところ 100 名を超える地域住民の登録があった。</p> <p>活動内容としては、水泳記録会の会場整備のための草刈作業から登下校中の子ども達へのあいさつなど幅広く活動されている。</p> <p>この活動が実施されることによって、今まで学校教育にあまり関心のなかった方々でも、子どもと関わることでやりがいを感じ、継続的な活動につながっている。また、子ども達も積極的なあいさつが出来るようになってきている。</p> <p>企業ボランティアについて、小さな企業ではボランティア活動を推進したい気持ちはあっても、人手が足りずに活動できないといった話を聞いたことがある。</p> <p>地域のために活動したいとする気持ちが大事であり、大企業は大企業なりの中小企業は中小企業なりの取り組み方があると思うので、それらを支援できる制度の構築を望んでいる。</p>
委員	<p>企業ボランティアの新規登録 50 社以上という指標を設定しているのは、企業の支援がないと市を経営する上で何か困っていることがあるからなのか。</p>
事務局	<p>何かに困っているという訳ではなく、第 3 次計画の策定前に実施したアンケート調査からも、社会全体が企業による地域社会貢献活動を求める結果となっていたので設定している。</p>
会長	<p>四国中央市は課題解決型ではなく目標達成型で方策を進めていくということ。</p> <p>最初は企業も個人や団体と同じような入り方でもいいとは思いますが、企業には人、物、お金といった大きな力があり、それぞれの企業に得意技があると思うので、得意技を活かしてボランティアを盛り上げることができればいい。</p>
委員	<p>大きなことをする必要はなく、こういうこともボランティアになるんだというような気づきを増やすことが大切だと思う。</p>
会長	<p>指標は登録社数を目指すことになっているが、登録後の働きかけについてもこの会で協議していく必要があると思うので、何かこんな支援があったらいいのという事案を次回の会に持ち寄っていただきたい。</p>
会長	<p><b>(3) ボランティア市民活動センターについて</b> 説明を事務局より願います。</p>
所長	<p>[資料⑥に基づいて平成 30 年度事業報告をした後、資料⑦に基づいて令和元年度の事業計画を説明]</p>
会長	<p>これについて意見はあるか。</p>
委員	<p>昨年の豪雨災害からの復興に関して、社会的には一段落したように思われているが、みかん畑の修復や土嚢づくりなどのボランティア活動は現在も行われている。</p>

会長	南予では被害に遭って住めなくなった民家などの公費解体が始まるので、家財を搬出するボランティアも必要であるし、仮設住宅から引っ越し際のトラックが足りていないなどの問題が発生している。こういった手が足りていない情報がなかなか届いていないので、中間支援組織のネットワークを活用して広報してほしい。
会長	(4) 四国中央市社会福祉協議会評議員の推薦について 説明を事務局より願います。
事務局	[資料⑧に基づいて評議員の役割、任期、開催頻度について説明した後、資料⑨に基づいてボランティア推進協議会より1名選出する必要があることを説明]
会長	これについて意見はあるか。
会長	意見がないようなので事務局案をお願いします。
事務局	事務局案として、民生児童委員である福濱りか委員を推薦する。
委員	異議なし
会長	本日の議事は全て終了したので進行を司会へ戻す
司会	これをもって、令和元年度第1回ボランティア市民活動推進協議会を閉会する。  閉会